

沖縄県立看護大学紀要投稿規程（2003. 5 改訂）

1. 投稿者の資格

紀要投稿者は、原則として本学の教職員（旧教職員を含む）、非常勤講師及び紀要編集委員会（以下、委員会）が執筆を依頼した者とする。筆頭著者は原則として投稿資格を有する者とする。投稿資格を有する者は学外の研究者を連名投稿者にすることができる。

2. 投稿の種類

原稿の種類は論壇、総説、原著、報告、研究ノート、資料、その他であり、未公刊のものに限る。また著書は原稿にその何れかを明記しなければならない。なお、投稿原稿は返却しない。

3. 原稿の採否

原稿の採否は委員会により決定する。原稿は委員会委員ならびに委員会より委任された者によって査読され、内容の加除、訂正を求められることがある。また倫理上問題があると委員会が判断した原稿は受理されない。

4. 校正

投稿者による校正は再校までとし、校正に際して原文の変更あるいは追加は原則として認めない。

5. 原稿作成上の留意点

1) 原稿は和文または英文とする。原稿（本文、図、表、写真などすべて）は正1部、副（コピー）1部と、原稿を保存した3.5インチフロッピーディスク（保存形式を明記）を添付して提出する。

2) 原稿はA4版にて和文40字（全角）×30行、英文80字（半角）×30行を1ページとする。和文の場合であっても、英数字、度量衡の単位、外国人名はすべて半角（1バイト、ASCコード）に統一する。例えば、 m^2 、kgなど機種に依存する特殊記号は使用しない。また、カタカナは必ず全角文字（2バイト）とし、半角文字（1バイト）では表記しない。すなわち、「ナース」ではなく「ナース」である。イタリック体ギリシャ文字など特別な字体、記号はそのつど明瞭に指定する。

3) 投稿論文の種類（制限枚数：図表は1点、0.5枚として数える）

論壇 Sounding Board（2枚）：本学の教育、保健看護領域に関わる話題のうち、議論が交わされつつあるものについて今後の方向性を指し示すような著述や提言

総説 Review Article（20枚）：とりあげた主題について、内外の諸研究を幅広く概観し、その主題についてのこ

れまでの動向、進歩を示し、今後の方向を展望したものの。

原著 Original Article（20枚）：テーマが明確で独創性に富み、新しい知見や理解が論理的に示されているもの。研究論文として形式が整い、研究としての意義が認められるもの。

報告 Report（10枚）には次にものが含まれる。

(1) 調査報告：調査・実験などで得られたデータをまとめ、本学の教育、保健看護領域の発展に寄与するもの。

(2) 事例報告：事例を用いた分析が保健看護領域の展開に寄与するもの。

(3) 実践報告：保健看護領域の臨床、ないし教育に関する手技・技術や実践の方法に関するもの。

研究ノート Research Note（10枚）：萌芽的研究、追試的研究、研究情報（文献レビューもこれに含める）など

資料 Sources/Information：調査・実践などで得られたデータや資料そのものに利用価値をもち、とくに仮説検定の意図をもたずし示したもの。

その他 Other：上記のカテゴリーに分類することが難しいが、委員会により掲載が妥当と認められたもの。

4) 図、表および写真は、図1、表1、写真1などの番号で区別し、本文とは別に一括する。

5) 文献の記載

本文中に引用した順に番号を付し、本文の引用箇所（肩に1）、1～4）など番号で示し、本文原稿の最後に一括して引用番号順に列記する。

雑誌の引用の場合

著者名（著者は全員を列挙する）：表題名、雑誌名、巻（号）：頁-頁、西暦年次。

<例>

1) 天野洋子、上田礼子、桜井あや子、安里葉子：中学生の対処行動に関する研究 - 悩みや困ったことのある場合 - . 沖縄県立看護大学紀要、1(1):1-8, 2000.

2) Imai S, Nakazawa M and Toyosato A: Effects of Rp-8-Br-cGMPS, a selective inhibitor of activation of cyclic GMP-dependent protein kinase by cyclic GMP, on relation of the rat aortic smooth muscle induced by nitroglycerin and nitro-prusside. Journal of Okinawa Prefectural College of Nursing, 1(1):23-27, 2000.

単行本を引用する場合

著者名：書名（版）．頁-頁、出版地、出版社（発行所）、西暦年次．

<例>

- 3) 上田礼子：ライフサイクルと保健活動の実践 - 周産期・乳児期・小児期 - . pp184-186、東京、出版科学研究所、1985.
- 4) Pope C and Mays N eds.: Qualitative research in health care (2nd). pp59-74, London, BMJ books, 2000.

分担執筆の本の分担箇所を引用する場合

分担著者名：分担箇所のタイトル．編集者名：書籍のタイトル．出版地、出版社、引用した頁、出版年．

<例>

- 5) Sedwick RP, Boder E: Ataxia-telangiectasia. In: Vinken PJ, Bruyn GW (eds) : Handbook of clinical neurology, vol 14. Amsterdam, North-Holland, pp267-339, 1972.

訳本を引用する場合

原著者名：書名（版）．発行年次、訳者名：書名．頁、発行所、西暦年次．

<例>

- 6) Bailar JC , Mosteller F eds.: Medical uses of statistics. 1986. 津谷喜一郎、折笠秀樹監訳：医学統計学の活用. pp125-141、サイエンティスト社、1995.

上記のいづれにも該当しない引用文献の記載方法については紀要編集委員会が協議し書式を決定するものとする．

沖縄県立看護大学紀要の英文の略称を「J of OP CN」とする．英文で論文を書き沖縄県立看護大学紀要を引用する場合にはこの略称を使用のこと．

- 6) 原著論文の本文構成は、緒言(Introduction)、研究方法(Materials and Methods)、結果(Results)、考察(Discussion)、結論(Conclusion)、謝辞(Acknowledgment)、文献(References)とする。また あるいは で段階的に段落を記述する場合、段落番号は、1. 2. 3. . . . とし、1. をさらに細分する場合は 1) 2) 3) . . . とする。

- 7) 投稿原稿には英文（300語程度）および和文（600字程度）抄録が必要である。ただし、論壇は除く。抄録は表題、著者名、所属、キーワード（5個以内）、抄録本文とする。抄録本文（Abstract）は背景(Background)、目的(Objective)、研究デザイン(Design)、対象(Subjects)、結果(Results)、

結論（Conclusion）などが分かるように簡潔にまとめる。

- 8) 英文抄録は次の要領でまとめること。

(1)英語のタイトルは次のように記述すること。

<例>

Nursing Education for Health Development and The Japan International Cooperation Agency (JICA)

(2)著者の書き方は次のように記述すること。

<例>

Yuko MIYAGI, R.N., Koichi MIYAGI, M.D., Dr. Med. Sci.

(3)Key Wordsの書き方は、固有名詞以外は小文字で記述すること。

<例>

enterogenous cyst, spinal cyst, electron microscopy, magnetic resonance imaging, carcinoembryonic antigen

- 9) 掲載論文の条件

人および動物を研究対象とする場合は、研究対象に対する倫理的配慮がなされ、そのことを論文中に明記すること。

- 10) なお投稿論文は電子情報開示されることを了解の上寄稿することを条件とする。

6. 諸経費について

別途に定める。

編集後記

沖縄県立看護大学紀要も第5号が発刊されることになりました。来年度は大学院が開設されるので、投稿論文も多くなることを期待しますが、本号については10篇の論文で、原著は1篇のみと寂しい状況です。

残念なことに最後まで制限字数（原稿枚数）が守られなかった論文もありました。ルールを守るということは大学人のエチケットに属することです。投稿者の誠意を求めたいと思います。また論文の査読にも多少の問題を感じています。査読者には、査読した論文をよりよいものにするために専門家としてのアドバイスを投稿者にかえすという、仲間を育てる姿勢を持ってほしいと考えます。今回、テーマによって一部学外に査読者を求めましたが、学外の査読者を積極的に導入する、あるいは最終的に紀要委員会での採択権を強めるなど、査読システムの検討が今後の課題と考えます。

多少、苦言を呈してしまいましたが小さな組織であるからこそフェアな精神が求められていることを自覚して欲しいと思います。諸先生方の研究が今後とも発展しますようにお祈りします。

紀要編集委員会
委員長 宮城 航一

紀要編集委員会

委員長 宮城 航一

編集長 園生 陽子

石橋 朝紀子

渡久山 朝裕

D.Craig Willcox

赤嶺 伊都子

比嘉 かおり

沖縄県立看護大学紀要第5号

発行日 平成16年3月

発行者 沖縄県立看護大学
〒902-0076 沖縄県那覇市与儀1-24-1
Tel : 098-833-8800
Fax : 098-833-5133

印刷 株式会社 国際印刷
〒901-0147 那覇市宮城1丁目13番9号
Tel : 098-857-3385

JOURNAL of Okinawa Prefectural College of Nursing

No.5

CONTENTS

Sounding Board

- Nursing Education and Research to Improve The Quality of Healthcare
Beverly M. HENRY 1

Review Article

- An Introduction of Qualitative Research to Nursing
– From The Viewpoint of Social Research Methodology–
Jun OKAMURA 3

Original Article

- Research on The Workshops for Mentally Handicapped Persons in Okinawa (1)
Masaru IREI, Mayumi TABA, Akiko UEZONO, Kimie YOSHIZATO,
Rieko KAMIZATO, Harumi YAMANE, Tokiko SHIMOZYU,
Hatsue NAGAHAMA. 16

Reports

- Research on Nursing Students' Sleep-health: No.2
– Comparison Between Ordinary Nursing Students and Working Nursing Students–
Rimiko ISHIKAWA, Kinuko KINJO, Seiko YOHEI, Eiko UEZU. 28
- A Process of The Work of Nurses Who Helped a Patient with Diabetic Nephropathy to
Accept Starting Hemodialysis Treatment
Ayako UEHARA, Eiko KADEKARU, Shinobu KINJO. 35
- An Expectation to The Action for Fulfillment of Life in K Island,
an "Adjacent-to-Main-Island Type" Isolated Island – Organizing of "Fureai Hiroba"
for Elderly by Inhabitant Centered Activities–
Mineko OKAWA, Akemi OHWAN, Sayuri KURECHI, Naoko OGAWA,
Masayoshi SAKUGAWA. 43
- A Study about Care Management in The Long-Term Care Insurance Systems
– The Actual Conditions in Isolated Islands–
Akemi OHWAN, Masayoshi SAKUGAWA, Mineko OKAWA,
Chieko YOSHIKAWA, Sachiko ITOU, Kyouko MURAKAMI,
Yuko KAKINOHANA. 51
- The Educational Method of Early Exposure in Nursing to Promote Formation of
Nursing Concept
Eiko KADEKARU, Ayako UEHARA, Kazue NASHIRO, Sadako OTA,
Ssinobu KINJO, Takano UEZU, Yoko ASATO. 59
- Support of Elderly People Living Alone with The Late Paraphrenia Condition
– From The Position of The Visiting Nurse–
Mayumi TABA, Fujiko TOYAMA, Masaru IREI. 66

New Sources

- Competencies Required for Telenursing– From 4 Literatures on Telenursing–
Naomi MAEHARA, Yoko NAKASONE, Rika ARAKAKI,
Chieko YOSHIKAWA. 73
- List of Works, Joint Projects, Public Forum 80
- Criteria for Manuscripts 90
- Postscript 91

March 2004